

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書11月分

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【現代用語の基礎知識 学習版 2021-2022】

現代用語検定協会／監修 自由国民社

欧米諸国と中国の対立、日本の領土問題など、現在進行形の事件や押さえておきたい重要なニュース、時事問題を厳選してそれぞれの要点やそもそもの背景などを明確にわかりやすく、さらにコンパクトに解説する1冊。

【#マイネーム】黒川裕子／作 さ・え・ら書房

“さんづけ”運動が始まった杜中(モリチュー)に入学した、中学一年生の明音(みおん)は両親の離婚によって名字が変わったばかり。新しい名字が強調されて、もう最悪だ。そんなとき、SNS で【自分の名前がきらいなやつ集まれ#マイネーム】という地元中学生限定のスレッドに出会う。“さんづけ”運動反対のスレッド主の呼びかけに、不満を抱える明音たち一年生は熱狂し、「杜中名札事件」が勃発。思いもよらぬ展開をみせる。

【ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2】ブレイディみかこ／著 新潮社

中学生の「ぼく」の日常は、今も世界の縮図のよう。授業でのスタートアップ実習、ノンバイナリーの教員たち、音楽部でのポリコレ騒動、ずっと助け合ってきた隣人との別れ、そして母の国での祖父母との旅……。13歳になった「ぼく」に親離れの季節がやってきた。

【なぜ世界を知るべきなのか (小学館 YouthBooks)】池上彰／著 小学館

多様な文化、多様な思考、多様な生き方……。外の世界に関心を持つと、あなたが常識だと思っていることが常識ではないことがわかり、日本にいるだけでは持ちえない視点を持つことで大きく成長することができる。コロナ禍が収束したら、世界を見てみよう。

読みたかった本がある…
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。